

勝利への決意!!



駿大のアスリートたち

2014年

シーズンに

「千年」の2014年。駿大のアスリートたちは、今年も天馬の如く縦横無尽にフィールドを駆け回る。干支の午の方位は「南」を示す。加治丘陵に学び舎のある駿大は飯能市の南部。つまり、今年も駿大の年でもあるのだ。「行くぞ!箱根」めざせ!リーグ制覇「手にしろ!全日本キップ」。選手たちの意気込みは、熱くほとばしる。2014年シーズンが幕開けし、昨シーズン以上の成績を残そうと汗を流し、歯を食いしばる若き選手たちを次のステップへと誘う指導者たちの奮迅の誓いを次に記そう。

◆ 陸上競技部

全国入賞!! 関東優勝!!

関東インカレの1部昇格を目指しては、1部に昇格しても戦えるチームでなければならぬと考えている。そのためにも関東インカレでの優勝種目を増やすこと。そして日本インカレにおいて入賞できるチーム作りを掲げている。男女共々、全国レベルにおいて戦えるチームにしたい!

(監督・邑木隆二)

◆ 女子ホッケー部

関東制覇!そして日本一へ

今季女子ホッケー部は「関東制覇」全国ベスト4から「関東制覇」日本一」に目標を定める。昨年、1昨年と2年連続で全国ベスト4入りを果たしたが、関東リーグ制覇、インカレベスト4を達成する為にはあと一歩という所で、その歩の大きさを思い知らされる結果となった。そのため、今季からはまず目標から見直し、身体作りや食事など競技面、生活面ともに見直しを図る。そして、選手全員が一丸となって力を尽くし戦い抜くチームを選手一人一人に創る。

(コーチ・中里真希)

◆ 男子ホッケー部

昨シーズンの成績を上回る!!

男子ホッケー部は、2003年度に創部し、昨シーズンまでの間のトップレベルの大学になるための4年計画を5年前に策定し、推進した結果、最終年の昨年、好成績を挙げることが出来た。戦績は、関東リーグ1部昇格を準備、大学王者戦初出場、インカレベスト4、更に全日本選手権大会にも初出場し勝利を挙げた。今季はこの成績を更に上回るよう全員が情熱をもって練習に励み、将来は常勝の駿大になりたい。

(監督・坂本実)

◆ ハンドボール部

1部昇格、そしてインカレへ!!

ゼロからチームを築いてきた1期生である4年生が関東学生リーグで7部から2部まで上げてくれ、インカレに初めて出場することができた。ただ、達成できなかったのが、1部への昇格である。1期生に比べて個々の能力よりもチーム力での勝負が求められる新チームは、1期生のためにも念願である1部への昇格と、インカレに連続出場し、今季果たせなかった「1勝」を目標に練習に励んでいきたい。

(監督・鈴木徹)

◆ ラグビー部

2部との入れ替え戦を勝ち取る!!

昨年は、チームの目標である3部昇格を達成する事が出来た。今年の目標は、2部との入れ替え戦を勝ち取る事である。現時点でのチームの目標としては、かなり高い目標設定だが、一人ひとりがヘルプアップに取り組み、チーム一丸で戦う事が出来れば、必ず手に入られると確信している。2014年度のラグビー部は、自分達もワクワク、周りもワクワクさせて突っ走りたいと思う。声援を、宜しくお願いしたい。

(監督・松尾勝博)

◆ 硬式野球部

2部優勝、1部昇格!!

我々、硬式野球部は、今季新部員が50名を越え、チーム全体で100名超えと所帯のチームとなる。より激しい競争を選手間で行わせ、チーム全体の力を高めていきたいと考えている。前季では、ここ一番での勝負強さに欠け、優勝することができなかった。今季はその反省を活かし、これまで以上に厳しい練習を重ね、2部優勝、1部昇格、さらに1部でも戦っていける技術・精神力を身につけていきたい。

(監督・飯塚伸一)

◆ カヌー部

全日本優勝とアジア選手権出場!!

私たちはスポーツ精神である「強い心」挑む姿勢「闘争メナール」を重んじて勝利を勝ち取るために今やなければならない課題を見失わないために「自分に厳しく、相手に思いやり」チームワークを大事にミスを恐れずに進む。考え込んだことが戦略として攻める戦いができるようにスキルを身に付け、昨年達成できなかったスラローム・ボロ競技の2種目制覇を目指し、アジア、世界とフィールドを広げられるように日々精進していく。

(監督・藤野 進)

◆ サッカー部

闘いに強いサッカー

サッカー部は、3つのカテゴリーの大会に参加している。埼玉県大学サッカーリーグ、インカレ、全日本学生サッカー大会である。チーム全員が公式戦に参加し昇格を目指している。トップチームは埼玉県1部リーグへ、セカンドチームは社大東リリーグへ昇格することが今年の目標となる。そのためには、個人の成長が必須になる。フィジカル・技術・メンタルにおいて強い選手にステップアップしなければならぬ。また、サッカーだけでなく、学業・生活面からも取り組み、みんなが応援される選手になることが駿大サッカーだと考えている。

(監督・大島貞昭)

◆ 弓道部

勝つためには的中率の向上

弓道部は関東学生弓道連盟に加盟し、埼玉県千葉県で構成の中間ブロックに所属。試合は男女とも4部制で行われている。リーグ戦の成績は男女とも実を出し切れず3部残留となったが、今季はさらなる部員育成に力を入れ、弓射の基礎づくりを基本に練習量の積極的な増進を図り、的中率の向上を目指し男女とも2部昇格を目標に一層の努力をさせた。一方、全日本弓道連盟が実施する段位認定の学生審査では、初・2段の段が増え3段取得も多く、更に4段を叩きつけて射術に磨きをかけている好ましい状況にある。

(師範・星野昭二)

◆ ユニバーサルホッケー部

フロアボールで世界に挑戦

フロアボール (Floorball) は、体育館の中でプレーする「アイスホッケー」型のスポーツである。日本では未だマナーなスポーツだが、北欧を中心とするヨーロッパ諸国ではメジャーなスポーツだ。2024年のオリンピック種目採用を目指している。日本では、1994年以降、我が国は東京が中心となって育み強化してきたスポーツである。今年も、日本学生選手権大会での優勝、そして一人で多くの部員が、日本代表選手として国際大会に出場し、活躍することを目指している。

(監督・吉野貴順)

◆ スキー部

インカレ2部内での入賞!!

スキー部は少数だが、それだけ精銳として戦っている。現在はインカレ4部制の中で2部に所属。1・2部は強豪校、日本のトップ選手たちが集まっているので、そう簡単には成績を残すことができないが、学生たちは日々の辛いトレーニングを行っている。新シーズンがスタートした。声援を糧に頑張る。

(コーチ・田部井進也)

◆ 剣道部

4年振りの全日本出場を目指して!!

選手を目指して汗を流し間を磨き、そして社会人のレギュラーを目指すをモットーに指導している。歴史の浅い大志としては男女共々異例の全日本出場を果たしている。昨年は全日本出場は果たせなかったが関東学生新人戦では久々のベスト16(1部)権確保となり、今年が楽しみである。また、埼玉学生大会(埼玉にある18大学)では、1昨年3位に沈んだが昨年は優勝を奪還し、3年連続優勝を目指す。夢である全日本3位を目指し頑張りたい。警察官に就職したOBたちが全日本選手権に県代表として出場したことも励みだ。(師範・波多野幸宏)

誓う

勝者は我らだ!!

駿大に公式キャラクター

“しゅんた”誕生

つぶらな瞳とトサカが特徴

全国的に人気を博しているゆるキャラが駿河台大学にも誕生した。大学のロゴマークをモチーフに、緑あふれる自然豊かなキャンパスで育った鳥をイメージして考案された“しゅんた”は、学内外で広く愛されるキャラクターとして、大学の広報誌やホームページでの活用をはじめ学内の行事や地域のまつりなどにも積極的に参加している。

キャラクターの制作は、平成25年2月に学生からの提案によりプロジェクトがスタート。学生・教職員・卒業生のほか、系属校である駿台甲府高等学校美術デザイン科の生徒を対象にデザインを募集。応募総数43点の中から学生の人気投票を行い、多くの票を獲得したメディア情報学部1年生の川合清香さんの作品“しゅんた”が最優秀賞に選ばれ、駿河台大学公式キャラクターのデザインに選定された。

“しゅんた”は、駿河台大学のキャンパス内にある「駿大の里山」に生息している伝説の鳥で、好物は食堂のハンバーグ。鮮やかなブルーに黄色のくちばし、つぶらな瞳としなやかなS字のトサカがチャームポイント。

公式キャラクターとしてお披露目されたのは駿舞祭初日の平成25年10月26日。会場には埼玉県の「コバトン」や飯能市の「夢馬（むーま）」、日高市の「くりっかー・くりっぴー」、入間市の「テオ」が応援に駆け付け、主役の“しゅんた”が会場に姿を現すと、学生たちから「かわいい」との歓声が上がり、たちまち人気を集めた。

デザインをした川合さんは「自分の考案したキャラクターが選ばれてとても嬉しい。実物も予想通りになり満足」と笑顔。



デザインをした川合さん(メディア情報学部1年)も満足の笑顔

愛されるキャラ目指す 先輩たちには負けないぞ



駿舞祭初日に行われた“しゅんた”のお披露目会には、埼玉県や近隣地域のマスコットキャラクターたちも応援に駆け付け、新たな友人の誕生を祝った。写真は右から入間市の「テオ」、飯能市の「夢馬（むーま）」、埼玉県の「コバトン」。“しゅんた”を挟んで日高市の「くりっかー・くりっぴー」。先輩キャラクターに囲まれ、緊張するかと思いきや「一緒に頑張りましょう」と言わればかりに羽根を広げて得意のポーズを見せ、すっかり打ち解けた様子。



地域行事にも参加 愛嬌ふりまき早速人気者に

地元・飯能市の市街地を中心に開催された「飯能まつり」に“しゅんた”も登場。学生と共に山車を引いたり神輿を担ぐなど、まつりを盛り上げた。

駿河台大学は地域に根ざした大学として、地域社会と協力しながら「まちづくり、ひとづくり、ものづくり」に積極的に取組み、地域社会の活性化に努めている。



「ふわふわで気持ちいいね、しゅんた君」

ずんぐりした体形に小さな翼とくちばし、くりんとしたトサカが愛らしい“しゅんた”。つぶらな瞳で見つめられるとなんだか優しい穏やかな気持ちにさせてくれる。イベントなどでは小さい子どもたちから早くも人気を集め、子どもたちに囲まれると、羽根を広げて喜びのポーズをとる。しゅんた、これからも多くの人々に愛されるキャラクターになれるよう、頑張ってくださいね！

3月30日(日) 「駿大地域フェスタ」 サクラがお出迎え



地域に根ざした大学として広くキャンパスを開放する「駿大地域フェスタ」を3月30日(日)に開催する。昨年に続き2回目の開催となる今回は、パラリンピアン(女子陸上・走り幅跳び)の佐藤真海さんのトークショーや学生が制作した造芸術作品の展示、エコカー展示会などの各種イベントを行う予定。

広大な敷地を持つ駿河台大学のキャンパスには、様々な樹木が植えられ、四季折々に咲く花や実は季節ごとに構内を歩く人々の目を楽しませている。地域フェスタは、サクラの開花と新緑が美しい季節にキャンパスを地域の人々に開放し、地域連携の取り組みをこれまで以上に推進することを目的で開催している。

トークショーに出演する佐藤真海さんは、宮城県気仙沼市出身でパラリンピック陸上女子走り幅跳びの選手。五輪招致のプレゼンテーションではトップバッターとしてステージに立ち、スポーツとの出会いや義足でパラリンピックへ出場するまでの道のりなど自身の体験談を語り、開催決定に大きく貢献した。

※プログラムの詳細については決定次第HPで発表いたします。



佐藤真海さんが来校



教育力の駿大。



地域のチカラになれる、力をつけよう。